

防護柵等の景観に関するアンケート結果について

1) 目的

国立公園・県立自然公園に指定され、また、歴史文化的建造物も多数有する松江県土管内に相応しい良好な景観形成を図るため、少なからず景観への影響がある道路等の防護柵や標識柱等の色彩を安全面での機能確保や経済面を考慮した上で色彩を出来るだけ統一し、地域の景観向上を図りたいと考えています。

そのため、松江・安来地区の事業所等にお勤めの方を対象にご意見を伺いみなさんの声が反映されたルールづくりを進めたいと考えアンケート調査を実施しました。

アンケートにご協力いただき誠にありがとうございました。

2) 方法

方 法：メール及び用紙配布による調査

対 象 者：松江・安来地区にある事業所等の勤務者

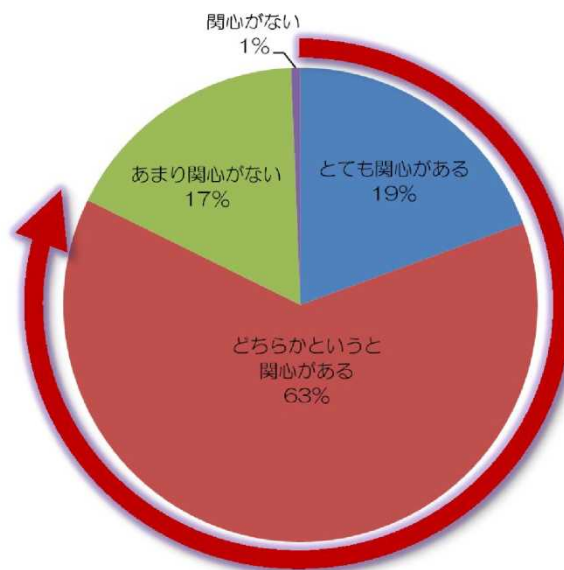
実施期間：平成28年12月5日～平成29年2月17日

回 答 数：474件（回収率81.3%）

3) 集計結果

(1) 景観の関心度について

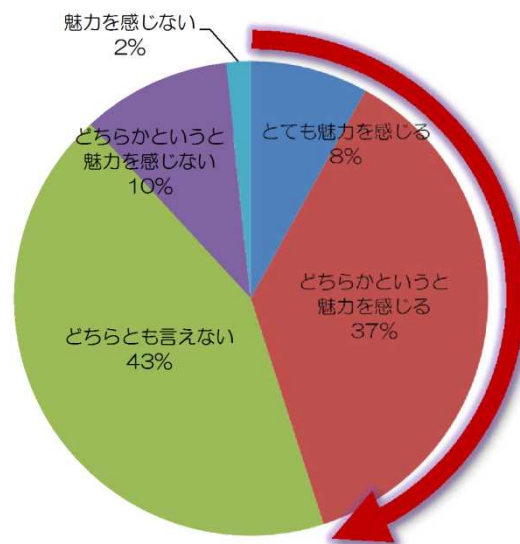
・『まちなみや自然などの景観に関心がありますか?』について、約8割が“関心がある”と答えています。



82%が「関心がある」と回答

（２）松江・安来の景観の魅力について

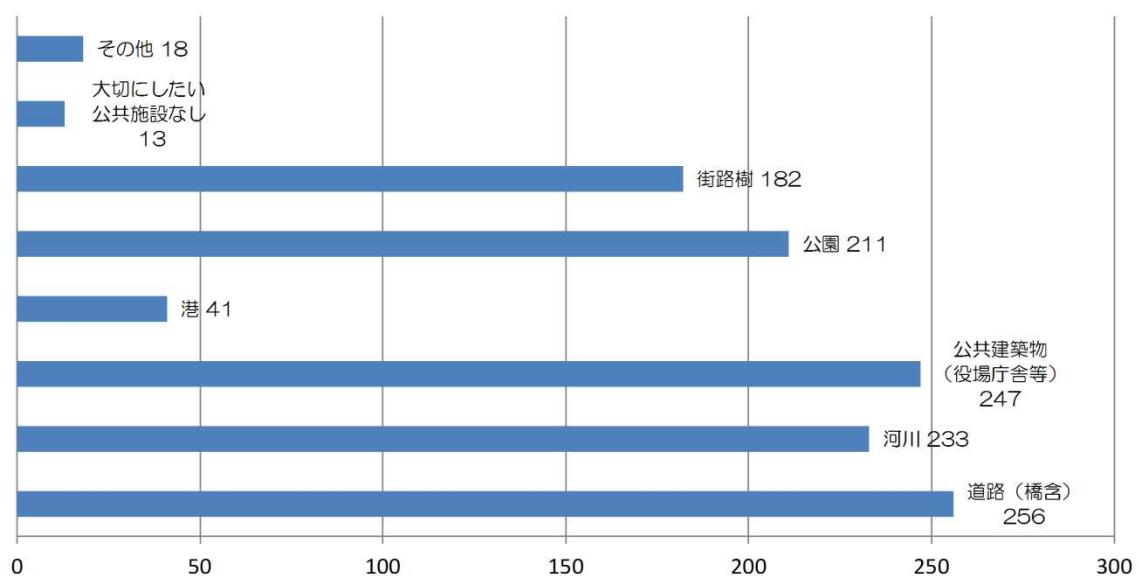
・『松江・安来の景観についてどのように感じていますか？』について、約４割が“魅力を感じる”と答えています。



４５％が魅力を感じている

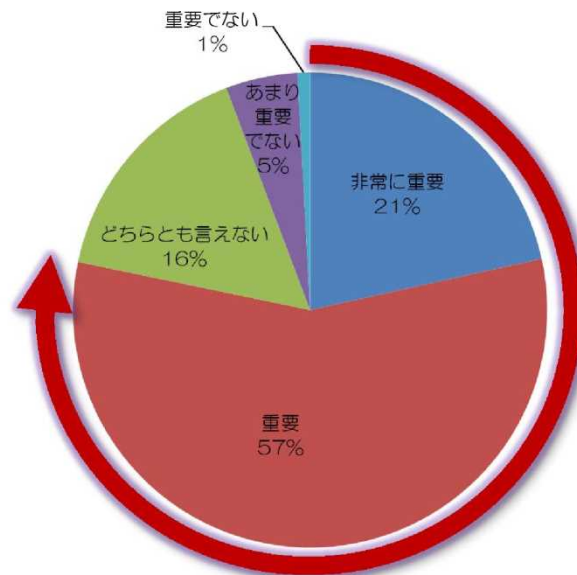
（３）景観上大切な公共施設について【複数回答】

・『お住まいの地域で、景観上大切にしたいと思う公共施設は何ですか？』について、“道路（橋梁含む）”、“公共建築物（庁舎等）”、“河川”が上位３施設となっています。



（４）景観に配慮して公共施設を整備することについて

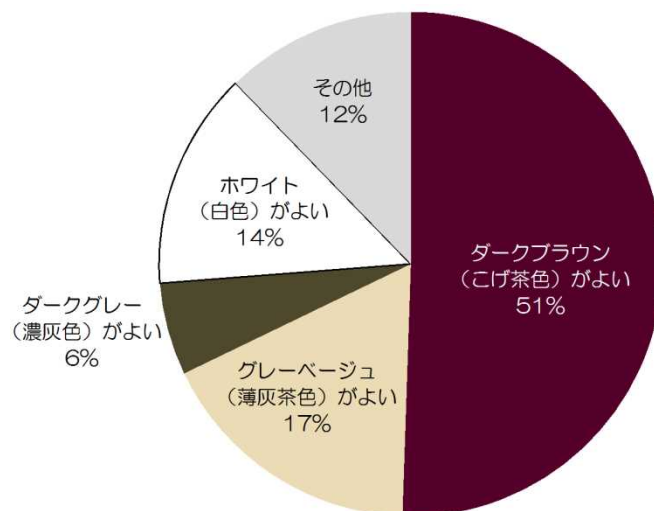
・『道路等の公共施設で景観に配慮して整備することは、重要だと思いますか？』について、約８割の人が“重要”と答えています。



78%が「重要」と回答

（５）防護柵の色について

・『防護柵（ガードレール、ガードパイプ）はどの色がよいと思いますか？』について、“ダークブラウン51%”、“グレーベージュ17%”の順となっています。

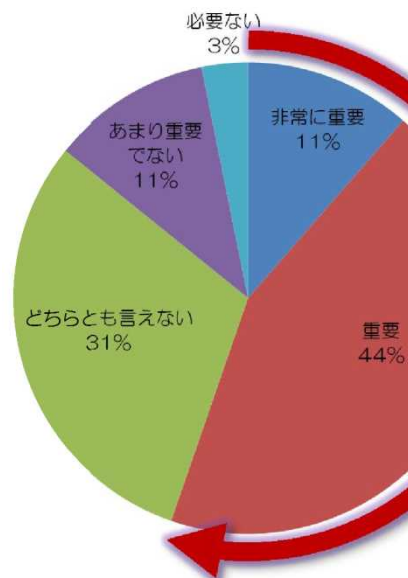


※その他の意見としては、“背景によりベストな色調は変化すると思います”、“画一的に決めるのではなく場所に応じて変えるべき”など、「使用する場所によって色を変えるべきである」との意見が数多くありました。他の色としては、“亜鉛めっき”“灰緑色”。

一方、“景観上いまひとつでも交通安全上の視認性が大事、背景に溶け込むような色は危険”、“安全性からの問題はないか心配。夜見えづらい”など、視認性、安全性を心配する意見がありました。

(6) 防護柵等の色彩の統一化について

・『道路の防護柵や標識柱等の色彩を統一することについてどう思いますか?』について、5割強が“重要”と答えています。

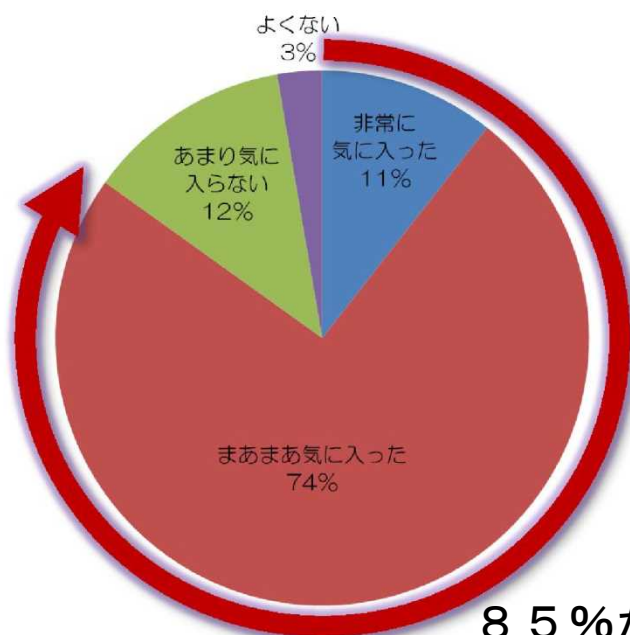


55%が「重要」と回答

※その他の意見としては、“管内全域で色を統一する必要はない”、“景観に配慮する道路（地域）を限定する必要がある”、“景観の統一も大事だが、安全性が一番”、“舗装面が黒色、区画線が白色・オレンジ色であり、柵や柱を景観色にまとめたところで、あまり意味がない”、“色のみ景観色に変えることが、景観に配慮したことになるとは思わない”、“景観にお金を掛けるより、道路の維持管理にお金を掛けるべき”、“管内全てを同一色とするよりも、エリア毎（市街地・山地・海岸沿い）に使い分けた方がよい”など

(7) ダークブラウン色ガードパイプの印象について

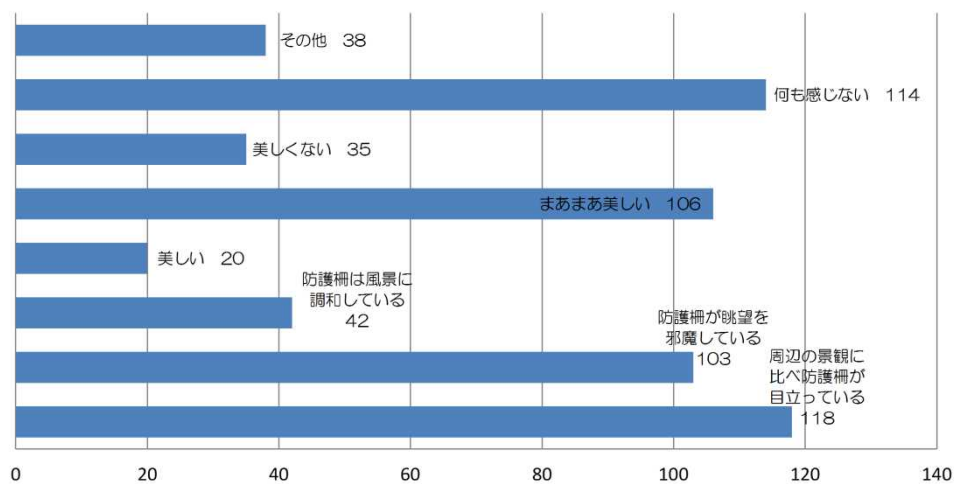
・『写真の松江管内にあるガードパイプ、橋梁の高欄の印象はいかがですか?』について、8割を超える人が“気に入った”と答えています。



85%が「気に入った」と回答

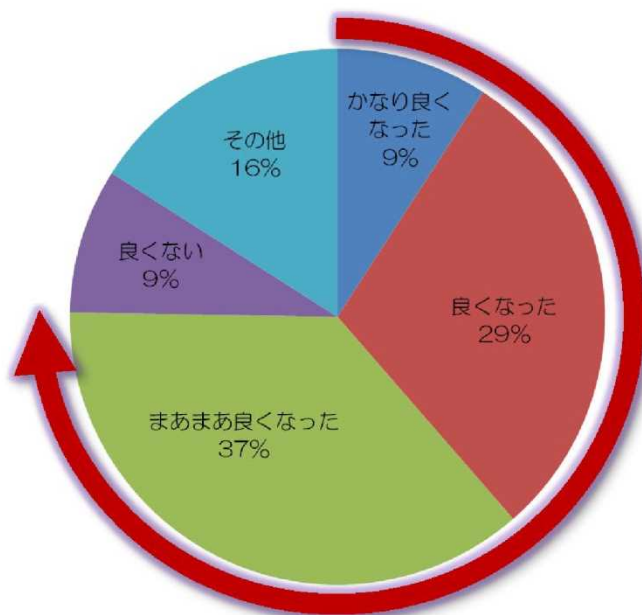
(8) 写真の防護柵を見て感じることは？【複数回答】

・『写真の防護柵を見て感じることを選んでください』について、昔からある防護柵の典型的な写真であったため、“何も感じない”“まあまあ美しい”との回答も多数ありましたが、次に“防護柵が目立っている”、“防護柵が眺望を邪魔している”という回答が多かった。



(9) 上の写真との比較について

・『上の写真と比べて感じることを選んでください』について、約7割以上の方が“良くな



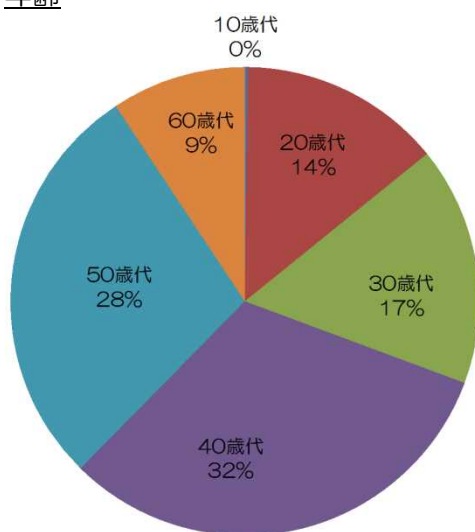
75%が「良くなった」と回答

(10) その他の意見

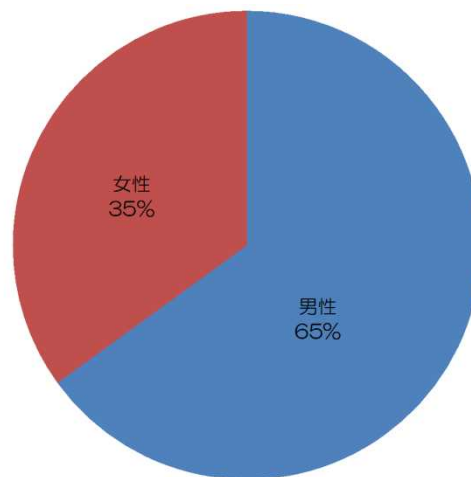
- ・景観色は、郊外では夜間など目立たなく、危険を感じる。
- ・景観上は茶色がいいが、交通安全的に目立たないので疑問だ。
- ・民家も少なく真っ暗な道路の所では、白が安全だと思う。
- ・調和を図るなら、防護柵や標識だけでなく、電柱も同様に取り扱うべきである。
- ・景観整備なら電線地中化の方を優先的にしてほしい。
- ・全てダークブラウンにすると暗い感じがする。防護柵だけで十分。
- ・景観に配慮する路線について、管内の市とも調整し統一してほしい。・・・など

(11) 回答者の属性

年齢



性別



(12) 考察

- 景観に関心を持っている人が約8割、景観への関心の高さがうかがえます。
- 松江・安来の景観に魅力を感じている人は、4割強に留まっている。
- 景観上大切な公共施設では、“道路”、“公共建築物”、“河川”を選択する人が多く、この三つの施設が特に景観上配慮が必要な施設と考えられます。
- 景観に配慮して公共施設を整備することが重要と考える人は約8割おり、整備する上で重要な要素であると考えられます。
- その一つの手法としてガードレールや標識柱等の色彩を統一することに関しては5割強の人が重要と考えています。
- 色彩はダークブラウン（こげ茶色）がもっともよいとの結果でしたが、市街地・山地・海岸沿いごとに使い分けた方がよいとの意見もあり、一色統一にあたっては、もう少し検討が必要である。
- 視認性の低下による走行安全性を不安視する意見、現在の白色ガードレールを容認する意見が数多くあることから、景観に配慮する道路（路線）や地域を限定することも必要と考えられます。

(13) 防護柵等の夜間視認性、視線誘導の対応

○下図のように、反射テープ、視線誘導標(デリネータ)を設置することにより、視認性等の確保は可能と考えています。

■防護柵の視認性確保

- ・視線誘導による安全性の確保を図るため、支柱に**白色・黄色反射テープ【半々】**を貼るなどの安全対策を講じる。

